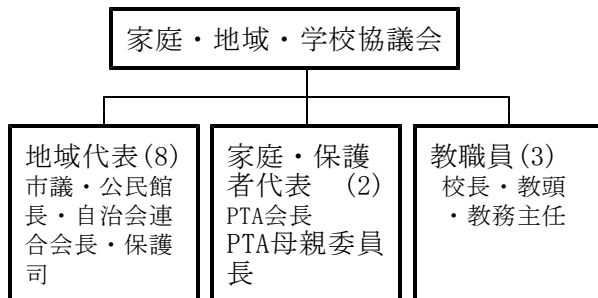


令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

福井市足羽中学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



※地域コーディネーター1名（麻生津公民館長）

(2) 協議会の内容

- 開催回数 年間3回
- 開催日程 6月7日（金）
8／31・9／1（学校祭）
2月21日（金）
- 協議内容
 - ・学校経営の実態に関すること
 - ・学校行事に関すること
 - ・学校評価に関すること
 - ・家庭、地域、学校の連携に関すること

(3) 協議会における成果と課題

協議会では、地域での生徒の様子や地域から学校への要望などについて、活発な意見が出るため、大変参考になる。また、要保護家庭に関する協力も得られやすい。ただ、協議会のメンバーが固定化してしまう面が出てくる。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

本校では、地域の行事に積極的に参加するよう呼びかけており、公民館等にも、参加するだけでなくスタッフの一人として働ける場所をお願いしている。また、1年生では校区の地域を含め、市内一円で働く人たちのインタビューを通して、福井の良さを見つめさせる取組や、吹奏楽部や合唱部・美術部を中心に地域の催しに参加し、地域に目を向け、地域の一員としての自覚を促していきたい。

(2) 活動の実際

①地域の良さを知る活動

1年生は、福井で活躍する人の生き方から、自分の生き方を考えるというテーマで、地域を含め市内一円で活躍されている方々との対談を通して、ふるさとを再発見する取組を行った。当日は、18カ所の事業所に分かれ、インタビュー形式での訪問をおこない、歴史や文化、産業などについて追究した。事後、まとめた結果は、総合学習発表会において、パワーポイントなどを駆使して全校の前で発表した。

②地域に貢献する活動

吹奏楽部・合唱部・美術部を中心に、各地区体育祭、清明ふれあい秋祭や麻生津地区文化祭「観月の夕」、あそうづアンサンブル演奏会に共演するなど、地域の行事にできるだけ参加をしてきた。そうすることで中学生自身が地域の一員としての自覚が芽生え、地域を誇りに思うようになり、また、地域の人たちにも中学生は地域の大切な宝だと意識してもらえるようになってきた。今回補助金で購入した楽器は、地域での演奏活動に使用している。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

足羽中学校校区にあるハーモニーホールで開催される「観月の夕」では、準備の段階から生徒が参加し企画・運営の一翼を担っている。また、家庭・地域・学校評議委員としていろいろなご意見をいただいている。特に、地域を知る活動では、地域の企業やお店等の紹介をしていただいた。

(4) 特に工夫した事項

- ・1年生では、各事業所に生徒自身でアポイントメントを取り、打合せを行わせたり、質問事項をあらかじめ考えさせたり、事前準備を丁寧に行った。また、事後の報告会では事業所の代表の方や保護者にも案内を出している。
- ・地域の催し物に足羽中学校の生徒が参加することについて、学校便りやホームページに掲載したり、全校集会で告知したりして、多くの生徒が地域の行事へ参加しやすい雰囲気を作ってきた。

(5) 成果と課題

各公民館では、子どもが参加できるいろいろな催しを開催していただいているため、生徒達も各行事に気軽に参加できるようになった。また、スタッフの一員として関わっていく中で、地域への帰属意識が高くなってきた。今後の活動であるが、働き方改革の中、担当教員の休日の出勤が増えることになるので悩ましさが残る。